

アワビ稚貝生産の効率化研究

今年4月に採苗した親貝から2回目と3回目の採苗を行い、その稚貝の生存数や大きさなどを平成26年8月22日に調査しました。2回目に採苗した稚貝も1回目に採苗した稚貝と同等以上に育つことが判明してきており、この技術を普及することにより、種苗生産に必用な親貝の数を半数程度に削減することが期待されています。



稚貝の実験用飼育槽

藻が生えた付着板にアワビ稚貝が付着しています。



屋外アワビ稚貝飼育槽(遮光シートで藻類の生長をコントロールしている)



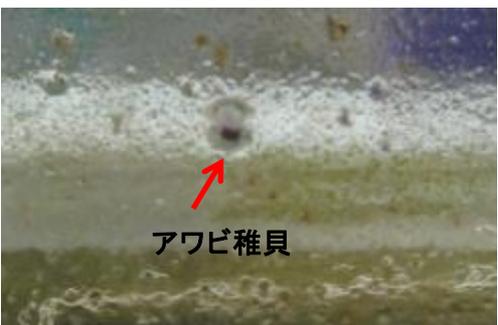
一枚の付着板に100~300個の稚貝が付着している



万能投影機を使用し、すべての稚貝の大きさを計測します。

付着板、飼育槽内の稚貝を残らず採集し、生存・死亡個体数をかぞえ観察します。

ふ化後約1ヶ月の稚貝顕微鏡写真



アワビ稚貝

